

保育施設責任職の方が困った時の対応法

～攻撃の理解と対応法～
(理論編/管理職対象)



⇒部下を持ち管理職として統括的業務を行っている方が参加対象となります。

★管理職対象研修★

講師 **井上 果子**氏

(横浜国立大学大学院名誉教授(博士)、臨床心理士・公認心理師、
こころの健康相談室『ふおーえむ』相談員)

日時 **令和8年6月5日(金)**

14時～16時 (理論編)

場所 **川崎市総合福祉センター** (エポックなかはら)
6階 研修室

定員 **20名** (申込多数の場合抽選となります)

対象 **川崎市内で保育の施設・事業所に勤務する管理職
及び本研修を初めて受講される方**

内容 **対人援助者が困るときの対応法を学ぶ研修会
(裏面参照)**

※事例検討編も予定しております。

本研修受講者を対象に、事例検討編を実施します。

申込方法 **研修申込専用フォームからお申込ください。**

申込締切 **5月15日(金) 17:00**

申込
フォー
ム



※申込時に受付完了のメールが届いているか必ず確認してください。メールが届かない場合、受付ができていない可能性がありますのでご注意ください。

また、フォームからのお申込みが難しい場合は別途、川崎市福祉人材バンク(Tel: 739-8726)までご相談ください。

※フォーム申込者には締切後、抽選結果をメールにてご連絡いたします。

研修内容

保育施設責任職は「感情労働者」です。そのため、保護者や職員間連携などで悩んだりしていませんか？組織として「困ったなあ」と思ったりしませんか？そういう時、保護者や職員の「心の状況」や「心の仕組み」を、少し専門的にわかると、相手の課題がみえます。その上で、対応策や介入の仕方を学ぶと、困り感は減ります。相手を変えることは難しいですが、こちらが適切に関わる(介入する)ことができるようになります。

この研修では、保育施設管理職の立場から、保育施設が抱える課題の対応方法を学び、問題の対応力UPを図ります。

《井上先生からメッセージ》

福祉人材バンクにおいて「心の相談室」を開設しています。

「心の相談室」では、相談に来られた方の職場で課題が発生し、その方が困ったり、悩んだりした時の「人間関係の変え方」や「組織・集団への介入法」のノウハウをお伝えしています。

どの相談者も、仕事で関わっている方々(利用者さん、職場の上司や部下、同僚等)から様々な「感情」を向けられています。「良い感情」を向けられることが多いです。しかし、時には「悪い感情」を向けられることもあります。向けられた感情や態度によって、自身は複雑な思い(怒り、傷つき、ひるみ)を抱きます。相手が向けてくる感情は、何らかの「サイン」です。このサインの意味を専門的に学ぶことは、何かと役立ちます。

「心の相談室」では「精神分析学」の視点から、理不尽な攻撃や不適切な感情を向けてくる「人々」の「心の状態」や「関わり方」を説明し「改善」に導く糸口をお伝えしています。

人間関係で困ったときは、ぜひ「心の相談室」にお越しください。

《会場案内》

川崎市総合福祉センター
(エポックなかはら)
6階 研修室
JR南武線 武蔵中原駅徒歩1分

《問合せ先》

川崎市福祉人材バンク
TEL：044-739-8726
e-mail：jinzai@csw-
kawasaki.or.jp

ホームページ

<https://kawasaki-jinzaibank.jp>

インスタ
始めま
した！

